

病理部

1 構 成 員

	平成23年3月31日現在
教授	0人
准教授	1人
講師(うち病院籍)	0人 (0人)
助教(うち病院籍)	1人 (1人)
助手(うち病院籍)	0人 (0人)
特任教員(特任教授、特任准教授、特任助教を含む)	0人
医員	2人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生(うち他講座から)	0人 (0人)
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員(教務職員を含む)	3人
その他(技術補佐員等)	2人
合計	9人

2 教員の異動状況

馬場 聡 (部長・准教授) (H18.6.1～現職)

土田 孝 (副部長・助教) (H19.4.1～現職)

3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成22年度
(1)原著論文数(うち邦文のもの)	3編 (2編)
そのインパクトファクターの合計	3.77
(2)論文形式のプロシーディングズ数	0編
(3)総説数(うち邦文のもの)	0編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	0.00
(4)著書数(うち邦文のもの)	0編 (0編)
(5)症例報告数(うち邦文のもの)	8編 (5編)
そのインパクトファクターの合計	3.61

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共同研究)

1. Setoguchi T, Kikuchi H, Yamamoto M, Baba M, Ohta M, Kamiya K, Tanaka T, Baba S, Goto-Inoue N, Setou M, Sasaki T, Mori H, Sugimura H, Konno H*. Microarray analysis identifies versican and CD9 as potent prognostic markers in gastric gastrointestinal stromal tumors. *Cancer Sci.* 102(4): 883-9, 2011. 【外科学】 [3.771]
2. 酒井直人, 難波宏樹*, 三浦克敏, 馬場 聡, 磯田治夫, 横山徹夫 アミロイドアンギオパチーによる脳葉型出血の発症機転 脳卒中の外科 38 巻 5 号 : 342-347, 2010 【脳神経外科学】 [0.000]
3. 酒井直人, 難波宏樹*, 馬場 聡, 三浦克敏 【脳内出血のすべて 2009】 出血の制御が未解明の病態 脳アミロイドアンギオパチー 出血機転にもとづいた手術法とその意義 The Mt. Fuji Workshop on CVD 28 巻 : 128-132, 2010 【脳神経外科学】 [0.000]
インパクトファクターの小計 [3.771]

(5) 症例報告

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Morita Y, Suzuki S, Sakaguchi T, Oishi K, Suzuki A, Fukumoto K, Inaba K, Baba S, Takehara Y, Konno H*. Pancreatic neuroendocrine cell tumor secreting parathyroid hormone-related protein and gastrin: Report of a case. *Surg Today.* 40(12): 1192-6, 2010. 【外科学】 [1.050]
2. Kyono Y, Takayama T, Kinoshita M, Kurita Y, Mugiya S, Baba S, Ozono S*. Combination therapy with sorafenib and S-1 for renal cell carcinoma producing granulocyte colony-stimulating factor. *Int J Clin Oncol.* 2010 Sep 16. [Epub ahead of print] 【泌尿器科学】 [1.508]
3. Suzuki A, Sakaguchi T, Morita Y, Oishi K, Fukumoto K, Inaba K, Takehara Y, Baba S, Suzuki S, Konno H*. Long-term survival after a repetitive surgical approach in a patient with acinar cell carcinoma of the pancreas and recurrent liver metastases: report of a case. *Surg Today.* 40(7): 679-83, 2010. 【外科学】 [1.050]
4. 安井秀樹, 赤松泰介, 中村祐太郎, 乾 直輝, 須田隆文, 千田金吾*, 目黒史織, 馬場 聡 早期胃癌による pulmonary tumor thrombotic microangiopathy (PTTM) の 1 例 日本呼吸器学会雑誌 49 巻 2 号 : 122-127, 2011 【内科学】 [0.000]
5. 齋藤 靖, 笠原正男, 村上雅子, 村松瑞穂, 徳山 勤, 難波宏樹*, 馬場 聡 下垂体部 Wegener's granulomatosis の一例 日本内分泌学会雑誌 86 巻 Suppl.:49-50, 2010【脳神経外科学】 [0.000]

インパクトファクターの小計 [3.608]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 高見澤潤一, 久世真悟, 京兼隆典*, 柴原弘明, 中村勇人, 馬場 聡 集学的治療中に発症した乳癌肺転移の 1 例 癌と化学療法 38 巻 2 号 : 301-303, 2011 【外科学】 [0.000]
2. 柴原弘明, 久世真悟, 京兼隆典*, 高見澤潤一, 中村勇人, 森川修司, 林英次郎, 木下真奈, 馬場 聡 Cetuximab 療法中に狭心症と間質性肺炎がみられ癌性リンパ管症で死亡した再発

大腸癌の1例 癌と化学療法 37 卷 11 号：2193-2198, 2010 【外科学】 [0.000]

3. 磯部龍夫, 藤田 豊, 木下真奈, 馬場 聡* 全身リンパ節腫脹により発見された全身性エリテマトーデスの治療中に全身サイトメガロウイルス感染症および血球貪食症候群を合併した症例 袋井市立袋井市民病院研究誌 19 卷 1 号：2-11, 2010 【内科学】 [0.000]

インパクトファクターの小計 [0.00]

4 特許等の出願状況

	平成22年度
特許取得数(出願中含む)	0件

5 医学研究費取得状況

	平成22年度
(1) 文部科学省科学研究費	0件 (0万円)
(2) 厚生科学研究費	0件 (0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 (0万円)
(4) 財団助成金	0件 (0万円)
(5) 受託研究または共同研究	0件 (0万円)
(6) 奨学寄附金その他(民間より)	0件 (0万円)

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	0件
(2) シンポジウム発表数	0件	0件
(3) 学会座長回数	0件	0件
(4) 学会開催回数	0件	0件
(5) 学会役員等回数	0件	0件
(6) 一般演題発表数	0件	

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数(レフリー数は除く)	0件	0件

9 共同研究の実施状況

	平成22年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成22年度
産学共同研究	0件